

令和 8 年筑紫野市議会
第 2 回総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会

○日 時

令和 8 年 4 月 22 日（水）午後 1 時 30 分

○場 所

筑紫野市議会 第 1 委員会室

○出席委員（11名）

委員長 横 尾 秋 洋
委員 田 中 允
委員 高 原 良 視
委員 坂 口 勝 彦
委員 前 田 倫 宏
委員 春 口 あかね

副委員長 宮 崎 吉 弘
委員 辻 本 美恵子
委員 白 石 卓 也
委員 段 下 季一郎
委員 赤 司 祥 一

○欠席委員（0名）

○議長（1名）

原 口 政 信

○傍聴議員（4名）

議員 城 健 二
議員 檜 木 孝 一

議員 古 賀 新 悟
議員 吉 村 陽 一

○出席説明員（4名）

企画政策部長 宗 貞 繁 昭
教育部長 濱 崎 博 文

企画政策課長 中 尾 泰 明
文化・スポーツ振興課長 安 樂 鉄 平

○出席事務局職員（3名）

局長 杉 村 真 子
係長 本 田 潤 平

課長 高 木 美智子

開会 午後 1 時30分

○委員長（横尾秋洋君） 皆さん、こんにちは。

それでは、委員がおそろいですので、ただいまから第2回総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会を開会いたします。

まず、傍聴の件を御報告いたします。本特別委員会に4名の議員が傍聴に出席しておりますので報告をいたしておきます。

会議に先立ち、各委員の席を決定する必要があります。もしよろしければ現在御着席の席を各委員の席として指定したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（横尾秋洋君） 御異議なしでありますので、委員席については現在の着席のとおり指定いたします。

では、会議に入ります前に念のために申し上げておきますが、会議中、発言のある方は挙手をしていただき、委員長から説明を受けた後にマイクのスイッチを押して発言していただきますようお願いいたします。

また、携帯電話をお持ちの方は電源を切るかマナーモードをお願いいたします。

それでは、議題1、今後の検討項目について執行部から説明を受けますが、まず企画政策部長より一言御挨拶をいただいて、出席している職員を紹介していただきますようお願いいたします。

宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） お疲れさまです。企画政策部の宗貞でございます。総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会で、今回、私たちが初めて説明をさせていただきます。よろしくお願いします。

今日の説明の中身といたしましては、今後の検討項目、今後何を検討していくのかというところ、それから（2）として、まずは検討の趣旨、目的、これまでの経緯について御説明を申し上げたいと思いますので、よろしくお願いします。

出席職員の紹介をさせていただきます。企画政策課の中尾でございます。

○企画政策課長（中尾泰明君） 中尾でございます。どうぞよろしくお願いします。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 教育部につきましては、教育部長のほうから紹介させていただきます。

○教育部長（濱崎博文君） 改めまして、こんにちは。教育部長の濱崎でございます。どうぞよろしくお願いします。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） 文化・スポーツ振興課長の安樂です。どうぞよろしくお願いします。

○委員長（横尾秋洋君） それでは、審議に入りたいと思います。

お手元に式次第があるかと思いますが、皆さん大丈夫ですかね。田中委員はペーパーでありますか。

では、議題１の今後の検討項目について執行部から説明をお願いいたします。

宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 改めまして、私のほうから御説明申し上げます。

用地の選定までにつきましては、私たち企画政策部のほうで御説明申し上げたいと思います。

（１）今後の検討項目についてです。今後何を検討していくのかというところでございますが、①から⑦までを想定させていただいております。

まず①検討の趣旨・目的・経緯については後ほど今日御説明させていただきたいと思います。

その後に②で用地選定の基本的な考え方と抽出、そして③でその中から用地の評価をし、選定をしていくという作業。

そして用地がある程度ここだということが決まれば、④の選定用地のサウンディング調査、これが四、五か月程度かかるんじゃないかなというふうに思っています。このサウンディング調査でございますが、下のほうに米印で書いております。サウンディング調査、市有地や公共施設の活用の検討段階で、民間事業者のアイデアや市場性を把握する調査であり、事業手法の把握とともに、財政負担の軽減や配置計画、スケジュール等の提案を受けるというものでございます。この民間の調査を四、五か月かけてやりたいということです。

⑤です。その民間の調査を受けて事業手法、建設費等を想定した財政面での検証、求められる機能や維持管理、運営、管理の考え方を検討していきたい。

サウンディング調査で民間からいろんな提案があると思います。まずは事業手法をどうしたらいいのか、それから、例えばその事業手法でするならば金額はどのぐらいかかるのか、その金額に対して市として財政運営上、大丈夫なのか、そういうところを検討していきたいというのが⑤に当たってまいります。

それをまとめまして⑥の基本計画案として取りまとめていきたい。そしてパブリックコメントを経て基本計画の策定という流れになるのではないかとこのところでございます。

右側に書いておりますけども、まずは本日検討の趣旨、経緯を説明し、用地の抽出を行い、用地の選定を行って基本計画の案を検討してまいり、そして基本計画の策定、こういう流れを協議、審議させていただければなというところでございます。

(1)については以上でございます。

○委員長（横尾秋洋君） 大体今日は、①の検討の趣旨・目的・経緯についてが主な検討項目になろうかと思えます。特に今回のこの件は文教福祉の委員の皆さんは既に協議してありますのである程度はお分かりかと思えますけど、それ以外の委員というのは、傍聴に行っておけば別ですけど、していない委員はどこまで進んでいるのかということが分かりませんので、ちょっと文教福祉の委員の方は2回にわたってお話を聞くという形になるかもしれませんが、そういう趣旨で、検討の趣旨・目的・経緯について今日は検討していきたいなと思えます。

では、説明に入りたいと思えます。執行部、説明してください。

部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） それでは、検討の趣旨と経緯について御説明申し上げます。

まず(1) 検討の趣旨でございます。令和7年3月に策定した筑紫野市スポーツ推進計画における施策1、スポーツ施設の充実・環境の整備の取組を推進するため、昨年の11月に筑紫野市スポーツ施設整備基本構想を策定しております。

この筑紫野市スポーツ施設整備基本構想においては総合体育館の必要性、あるいは施設整備の基本方針、施設の規模等について定めており、今回はその建設場所あるいは今後のスケジュール等について検討を進めていくというものでございます。

まずは(2) 検討の経緯でございます。スポーツ推進計画、昨年の3月に策定しております。この計画の中で計画の期間としては令和7年度から11年度までということでございます。

策定の主な経緯でございます。令和6年3月にスポーツに関する市民意識調査を行っております。市民、高校生、スポーツ団体に対する市民意識調査を行ったというのが令和6年3月で、それを受けて令和6年6月から令和7年2月にスポーツ推進審議会で計画内容を審議していただき、令和7年1月から2月にかけてパブリックコメントを実施してつくったという経緯でございます。

この中で特に、市民意識調査では市民の63.6%、スポーツ関係団体では92%の方が新たな公共施設の建設が必要だというふうに感じている、必要なスポーツ施設では体育館が最も多かったというアンケートの結果が得られております。

その表に書いておりますけれども、「新たなスポーツ施設が必要か」というところで市民・学生アンケートの中では必要というのが28.9%、どちらかという必要が34.7%、トータル63.6%、そして関係団体ヒアリングでは、必要だという方が72%、どちらかと言えば必要が20%ありましたという結果でございました。

次のページの上の段でございますが、では「どのようなスポーツ施設が必要だと思いますか」という問いに対しては市民・学生の21.4%がまずは体育館だと、そしてプール、ウォーキング・ランニングコースが続いているというところですよ。

関係団体におきましてもやっぱり体育館が30%、プールが20%という結果になっているというところですよ。

これを踏まえて、このスポーツ推進計画の中でスポーツ施設については次の理由により総合体育館の整備を優先的に検討し、スポーツ施設整備構想の基本構想の策定に取り組むというようなことを定めているというところですよ。

この総合体育館を優先的に検討する理由としては、①市民アンケートの結果で体育館を望む声が多く、今後やってみたいスポーツでも卓球やバレー、バドミントンなど体育館でのスポーツが多かったということ。それから二つ目に建築から40年を経過した農業者トレーニングセンターの大規模改修が迫っているというところ。そして③で近隣市の総合体育館と比較しても農トレが狭いというところ。それから4番目に大規模地震等の避難所の拠点として機能が期待されると。こういうことで、まずは総合体育館から検討したいというのがこの計画の中で定められた、これを受けて、次のページのスポーツ施設整備基本構想というのをつくっていますということです。策定の主な経緯としては昨年4月から10月にかけてスポーツ推進審議会の意見を聞きつつ、9月から10月にかけてパブリックコメントを行いましたというところですよ。この中では、スポーツ施設基本構想の概要として農業者トレーニングセンターの現状と課題を踏まえつつ、総合体育館及び付帯スポーツ施設整備の基本方針、施設の規模等を設定しております。

それから二つ目には総合体育館、スポーツ施設の基本方針として四つ挙げています。スポーツに親しむ拠点づくり、市民が親しみ、集う場所づくり、スケールを生かした防災拠点づくり、環境に配慮した施設づくり、この四つを基本方針としてこの基本構想の中に掲げて

おります。

この中で体育館はどれぐらいの規模が要るのかということも盛り込んでおります。表にありますように総合体育館、トータルで延べ床面積が1万平米、用地としては1万1,000平米程度が必要じゃないかというところ、それから駐車場については平置きで500台程度必要でしょう、面積にすれば1万4,600平米ぐらい必要じゃないか、多目的グラウンド、サッカーとかをするためには1万2,000平米程度、多目的グラウンドのために3,000平米等々、トータルでこれを全てやれば5万2,900平米要るというような想定をさせていただいているというところです。

そして次のページでございますが、用地面積ごとの施設整備例ということで5万2,900平米が全て確保できれば全てということになりますが、スポーツ施設用地については総合体育館を優先的に検討しつつ、様々なスポーツの施設の併用を含めて用地面積ごとに検討するというふうにしております。総合体育館だけであれば1万1,000平米、駐車場・駐輪場分で1万4,000平米ほど、多目的グラウンドで1万2,000平米ほどというところでございます。

真ん中の表でございますが、仮に用地面積が1万から1万5,000平米、この程度の面積がもし確保できたとするならば体育館を中心に体育館と駐車場を整備する、1万5,000から30,000平米ほど用地が確保できれば、それに多目的グラウンドの小を追加して整備することができんじゃないか。最大で4万5,000から5万5,000平米ほど仮に確保できれば、多目的グラウンド小、多目的グラウンド、遊具広場、ウォーキングコース、こういうものも含めて整備できるんじゃないかというところを計画の中にうたい込んでおります。

さらに、事業費についても基本構想の中に掲載をさせていただいております。概算事業費として1万平米から1万5,000平米ほど確保できるのであれば、12億4,000万円から18億6,000万円ほどの用地費がかかる。それに施設整備費として73億円ほどかかる。事業費の合計としては85億円から91億円ぐらいの金額がかかるんじゃないかというところです。

1万5,000平米から3万平米ほどの用地が確保できれば、18億6,000万円から37億2,000万円ほどの用地費がかかり、さらに整備費については75億2,000万円、多目的グラウンドの小の分が加わりますので若干増えて75億2,000万円、トータル93億8,000万円から112億ほどかかる、最大で面積が4万5,000平米から5万5,000平米ほど確保できたとするならば、用地面積としては55億円から68億円、施設整備費としては最大で81億円ほど、136億円から149億円、150億円弱の事業費の合計になるんじゃないか、こういうことを踏まえて、先ほど言いました1番から7番までの検討を重ねながら進めてまいりたいというものでございます。

スポーツ推進計画、スポーツ施設整備基本構想における経緯を説明申し上げましたが、計画の内容については確認をさせていただき、次回に用地の抽出、どこの用地か、あるいはその用地を選定した理由あたりも説明させていただきながら協議、検討を提案させていただきたい、次回以降に提案させていただきたいなというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（横尾秋洋君） 今、概略を説明していただきました。これについて協議に入りたいと思いますが、今、部長の説明に質問がある方は聞きたいと思います。順序を追っていきましょうかね。最初の検討の趣旨というところであります。検討の趣旨と経緯と計画の概要、この部分の1ページ目を先にやりたいと思いますが、1ページに対して質疑等はありませんか。

前田委員。

○委員（前田倫宏君） 今後の検討項目について1項目から7項目掲げられておりますけれども、具体的な今年度のタイムスケジュール的なものをちょっと教えていただきたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） あくまで検討項目を挙げさせていただいております。タイムスケジュールについてはどういうふうな形で検討がなされるか、意見が出るかというところもありますので具体的なものは持っておりませんが、最短でいけば今年度中にはいけるのかなと。いろいろあれば2回、3回というような形で議論が重ねられればその分は延びますがというところでございます。具体的にいつまでに何をしたいというところまでは、まだ持っていないというところでございます。

○委員長（横尾秋洋君） いいですか。ほかありませんか。

高原委員。

○委員（高原良視君） こういういろんなスポーツ施設整備ということの中で特別委員会まで設置されましたが、これは担当部署としてずっと大体教育委員会のほうで取り組まれてきた。それに、企画のほうで用地選定まで私のところでしますというようなことで、今説明された分は教育委員会のほうでずっと詳しく取組をされてきとうたいね。企画が、私のところで用地選定までは企画のほうでしますということになれば、市の基本的な考えとしていろんなやっぱり計画がありますよね。今後計画がいろいろ出てくると思います。企画部以外の部分の中で、福祉の部分であったり、いろんな部分であったり、市民に対しての部分で

あったり。そういうものも全て企画のほうで考え方の分はしていくという基本的な執行部としての考え方があるのか。だから、そのところは、やっぱり市長がそういうふうな考え方を持っておられるという考え方なのか、そこを聞かせてほしいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 既にスポーツ推進計画と整備基本構想は市としての計画になっております。私どもとしては②、③、用地選定についてはやっぱり私たちのほうで説明すべきかなというところで1、2、3を今回、私のほうで説明させていただいているという状況でございます。

福祉関係をというところは全くゼロではないと思いますが、ケース・バイ・ケースかなというふうに思っています。今回は特に施設の用地については場所が決まらないというところでございますので、そこまでは私のほうで説明させていただけたらというふうに思っております。

○委員長（横尾秋洋君） 高原委員。

○委員（高原良視君） 何でそういうことを言ったのかと言えば、今までの中でそういうふうにして計画の中に企画のほうが入ってきてということはないんですよ。今までにないことやね。総合計画との関連性で当然ながら全体計画とかいうものは出てきますが、こういうふうにして、ここまでは私のところでしますとか、そういうふうな形で、今までにないことをされているということだから、市の執行部としていろんな面においてそのような形で進められるかということを私は聞きたかったんです。

○委員長（横尾秋洋君） 宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） ケース・バイ・ケースであろうと思いますけれども、確かに今言われるように異例ではあるかなというふうに思っております。例えば庁舎であれば、企画のほうに庁舎担当というのを置いて用地の選定等々をやってきましたけれども、そういうところもありますので、ちょっと今回は教育部と歩調を合わせてといいますか、教育部と一緒に御説明できたらなというところでございます。

○委員長（横尾秋洋君） 今、高原委員のほうから質問があったように、これは教育部の濱崎部長のところとずっと協議されて今のような形でやっていこうという決定がなされたということでよろしいですか。濱崎部長何かあったら。

濱崎部長。

○教育部長（濱崎博文君） 委員長の言われるとおり、企画のほうとこれから歩調を合わせ

ながらいろいろ検討を進めてまいりたいというところでございます。

以上でございます。

○委員長（横尾秋洋君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（横尾秋洋君） 大体今日のレジュメですと、今後の検討事項について①から⑦までありますけど、ちょっと私なりに考えてみたんですが、①を4月にこの委員会でやって、次の用地選定の基本的な考え方と抽出は5月かなと。そして用地の評価あたりを6月ぐらいに協議して、それから選定用地のサウンディング調査というのが四、五か月かかるということがありますので、これが年内ぐらいに収まって、5番目ぐらいをスムーズにいったら12月議会中に審議できるかなというふうな段取りで、最初に言われたように今年度中にある程度のめどがついて実際は来期のほうに進んでいくのかなという感じが私なりにしております。

じゃあ、今の市民の意識調査のところまでで質疑はありますか。

辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） 私は文教ではないので、文教での計画の検討の経過をあまり知らない。傍聴してざっとは聞いてるんですけど。この市民意識調査の結果から見て、なぜすぐに体育館の建設にいくのかというのがちょっとよく分からないんですね。ここをもうちょっと、市民意識調査の内容をもう少し丁寧に説明していただけたらと。

市民の要望は、これまで頂いた資料を読んでもこういうところではないんじゃないかなと。体育館というのは、競技スポーツをする人のための施設のように思えるんですね、今の説明されている規模では。それよりも、多くの市民が望んでいるのは、身近なところでできる軽スポーツという感じの望み方をしているんじゃないかなと思うので。

その辺がはっきりしない限りは、どのような施設規模のものにしていくのかという検討にまでは私としては入れないんじゃないかなと思っているので、できたら市民意識調査からもうちょっと詳細に見えるものを説明していただけたらと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 関連で。段下委員。

○委員（段下季一郎君） ちょっと飛ばしたいと思うんですけど、ちょっと今、通知を送らせていただいて。

○委員（前田倫宏君） 質疑ですので、それが終わって今の、検討、趣旨の経緯というのは、もう次に行かれたんですか。

○委員長（横尾秋洋君） いやいや、今、市民意識調査のところまで行って、今、辻本委員が文教でどういう経緯があったのかということがあったので、これは濱崎部長のほうでやっていったんですかね。

濱崎部長。

○教育部長（濱崎博文君） 先ほど申しました令和7年の3月ですかね、スポーツ推進計画を策定したときの意識調査を用いて説明をさせていただいているところでございます。

○委員（高原良視君） スポーツ推進計画とかずっといろいろ計画、基本構想できたやないですか。その分の説明から要るんじゃない。結局、全然初めて聞く人やないですか。

○委員長（横尾秋洋君） ちょっとしばらく休憩します。

休憩 午後1時54分

再開 午後1時56分

○委員長（横尾秋洋君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

じゃあ、スポーツ推進計画について説明をお願いします。

安楽課長。

○文化・スポーツ振興課長（安楽鉄平君） それでは、自分のほうから説明させていただきます。

まずスポーツ推進計画のほうからお話をさせていただきたいと思っています。その中でスポーツ推進計画、体育館にもいろいろと計画がありますけども、体育館の部分抽出して説明をさせていただきたいと思っています。

それでは、推進計画の19ページからまずお願いしたいと思っています。

まずこの推進計画をつくる際に市民アンケートを市民のほうに取っております。まず19ページを御覧いただきたいと思うんですけども、まずこの調査の概要というところで抽出が約3,000人、3,000件ですね、これを無作為に抽出しまして1,046通の回答があったというところで34.8%から回答があったというところになります。

その中で体育館に関わるところになるんですけども、ちょっと重複するところがあります。23ページになります。新たな公共スポーツ施設の必要性というところで市民の方にアンケートを取っております。その中で「新たな公共スポーツ施設の建設が必要か」というところで、必要が28.9%、そしてどちらかと言えば必要が34.7%というところになりますので、

合計で63.6%の方が必要というところになっています。

それから次に8番目の問い、下段の表になりますけども「新たに整備することが必要な公共スポーツ施設についてはどういったものが必要か」という問いに対しまして体育館が21.4%というところで一番高くなっているというところでございます。

続きまして32ページをお開きお願いしたいと思います。

ここで関係団体のヒアリングというところで筑紫野市のスポーツ関係団体25団体にアンケートを実施しているというところになります。

そして34ページを御覧いただきたいと思っております。

34ページの3番、「新たな公共スポーツ施設の必要性」というところで必要が72%、どちらかと言えば必要というのが20%、合計で92%というところになっております。

続きまして4の「新たに整備することが必要な公共スポーツ施設の種類」のアンケート結果が体育館が一番多くて30.0%となっております。

続きまして39ページを御覧いただきたいと思っております。

39ページの(1)スポーツ施設の計画的な整備というところでまとめております。より多くの市民が気軽にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ施設の充実やスポーツ環境の整備を図り、スポーツに関する市民満足度を向上させるというところ。それからコミュニティセンターの新設や大規模改修時にはヨガやストレッチ等の軽運動ができるスペースの確保に努め、市民のスポーツの推進を行いますというところ。また、ウォーキングや登山など自然の中での運動ニーズも高いことから、天拝山や宝満山等の地域資源を生かした取組についても検討しますというところです。

続きまして、新たなスポーツ施設の整備については次の理由により総合体育館の整備を優先的に検討することとしております。

まず①市民アンケートにおいて、新たなスポーツ施設として総合体育館を望む声が大きかったこと。また、市民が今後行ってみたいスポーツでは、卓球、バレーボール、バドミントン、バスケットボールなど、体育館でのスポーツの割合が高かったというところ。

②になります。建設から40年を経過した農業者トレーニングセンターの大規模改修が10年以内に必要であり、多額な工事費が見込まれていること。さらに隣接する勤労青少年ホールの大規模改修があることから、本市の総合体育館の在り方を総合的に検討する必要があるというところ。

③農業者トレーニングセンターは近隣市の総合体育館と比較しても狭く、観客席や冷暖

房等の設備についても課題があるというところ。

それから④になります。大地震等の大規模災害時の避難所の拠点施設としての機能が期待されるというところ。

なお書きになります。新たな体育館整備の検討に際しては、その必要性も含め、現施設の課題整理や施設の整備を進める場合には場所や規模、事業費や事業手法などの検討が必要となるため、スポーツ施設整備基本構想の策定に取り組みますというところにしております。

また、その他のスポーツ施設の整備については市民ニーズや費用対効果を踏まえ、必要に応じて検討しますというところになっております。

これがスポーツ推進計画の中で体育館に関するところとなっております。それで先ほど話しましたとおり、この中でスポーツ施設整備基本構想の策定に取り組みますというところがありましたので、これを受けて、筑紫野市スポーツ施設整備基本構想の作成に取りかかったというところになります。

続きまして、筑紫野市スポーツ施設整備基本構想の件についてちょっとお話しさせていただきたいと思っております。

○委員長（横尾秋洋君） あんまり急ぎ過ぎると思うんやけど。32ページに戻ってもらって、筑紫野市スポーツ関係団体一覧表というのが1から25までありますけど、こういう団体を選んだという背景は何ですかね。例えば日本スポーツ協会に加盟している団体とか、そういうふうな前提条件があってこの団体を選んでいるのかどうか。また、これに入っていないようなスポーツ団体があるのかどうか。その辺ちょっと説明してもらえますか。

安楽課長。

○文化・スポーツ振興課長（安楽鉄平君） こちらの関係団体に関しましては、主に筑紫野市のスポーツ協会に加盟している団体から意見を取っているというところになります。そのほか、身体障害者福祉協会であったり、NPO法人カミーマリア筑紫野スポーツクラブ、スポーツ協会というところと取らせてもらったという経過があります。

○委員長（横尾秋洋君） 部長。

○教育部長（濱崎博文君） 辻本委員のほうから質疑があった分、ちょっと通知を送らせていただきます。市民が望んでいるスポーツという部分の答弁が少し漏れておりましたようですので、今24ページをお示ししたと思いますけど、こちらの問いの12のところに、今後市民がしてみたいスポーツというアンケートを取らせていただいた中で、インドア系のス

ポーツというのが多かったというような結果が出ているところでございます。

以上、補足させていただきます。

○委員長（横尾秋洋君） 段下委員。

○委員（段下季一郎君） じゃあすいません、先ほどもちょっと発信させていただいたんですけど、24ページのところをちょっとお尋ねしたいんですけども。

登山については、天拝山のあそこを今、結構手を入れて整備しているので、市民ニーズと合致したものがかなり整備されるのかなと思うんですけど、ウォーキングとか、例えばカミーリヤの外のコースとか身近なコースをもうちょっと整備する。例えば路面にここからここまで何メートル、100メートル、200メートルとか書いてあって、例えば立札があって消費のカロリー数がこれぐらい、何メートル歩いたらこれぐらいですよみたいな、そういうウォーキングコースとか立札とか、そういったものを既存のところでもうちょっと増やすという取組も——総合体育館は確かに、今修繕だったり大規模改修だったり建て替えだったりってあると思うんですけど、市民ニーズに合致したのもやはり並行してこういうふうにしていかないといけないんじゃないかなと思ったりしたんですけど、その点いかがかなと思ひまして。

あと筋トレとかも、参考にされた大牟田アリーナのところは筋トレのウォーキングマシンが既に整備されていて、カミーリヤのウォーキングマシンみたいなものがあるんですよね。ちょっとしたウォーキング、筋肉もりもりになるようなやつじゃなくて、健康づくりの点からできるような器具、ウォーキングマシンとかエアロバイクみたいなやつでいいと思うんですけど、そういったものもやっぱ並行して地域につくっていくということも必要になってくるんじゃないかなと思うんですけど、その点いかがお考えなのかなと。

2点お尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 安楽課長。

○文化・スポーツ振興課長（安楽鉄平君） まずウォーキングの件に関しては、もちろん先ほど説明しましたのが体育館に関することということがありましたので、スポーツ推進計画の49ページに少しウォーキングに関して触れているところがあります。少々お待ちください。

49ページの（3）スポーツを生かした観光、地域経済活性化というところで①観光資源を活用したスポーツ活動の実施というところで、スポーツの振興と観光活性化を目指すため、天拝山をはじめとした由緒ある名所・旧跡を起点としたウォーキングコースやランニング

コースを体育協会、今はスポーツ協会になっていますけども、作成し、そのコースをホームページに掲載しますとありますので、また違う部分でこれに関しては進めていきたいというふうに考えているところでございます。

そのほかお話にありました筋トレとかそういったものに関しましては今現在、農業者トレーニングセンター、それからカミリーヤにもそういった施設があるというところになっております。今後また新たな体育館を計画していくといたしますか、検討していく中でそういったところに関しても検討していくというところになってくるというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（横尾秋洋君） 春口委員。

○委員（春口あかね君） 先ほど辻本委員の質問にあった中で、この点について飛ばされていたんですけど、通知を送らせていただきます。

すいません、22ページです。その次のページですね。公共スポーツ施設に望むことというところで抜けていたので、しっかりと把握してほしいなと思うんですけども、辻本委員が言われた、誰もが気軽にスポーツができる広場をつくってほしいというのは、必ずしも大きな体育館を一つ造ることではないとは思っています。私自身は、造るなど言っているわけではなくて、この一つ一つのニーズの把握をどうやって反映させるかが重要だと思うんです。例えば、次の24ページのウォーキング・ランニング、登山を今後やってみたいとか、ダンス、筋トレをやってみたいとか。

大半を占めているのがウォーキング、ランニングであるということが市民の中での大半のニーズである中で、関係者団体に聞いた中で、既に体育館競技を行っている団体に聞いたら、それは体育館が必要だという調査結果になるわけです。例えばダンス協会に聞いたら、ダンスの施設が欲しいとなるじゃないですか。だから、一番見ないといけないのは市民ニーズだと私は思っています。

造ることに反対ではないんですけど、このニーズをはき違えて稼働率が低い施設になっていくことを危惧しています。その点についていかがでしょうか。

○委員長（横尾秋洋君） 宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 具体的にウォーキングとかランニングとか、あるいは市民ニーズをいかに反映するのかという話が質疑で出ておりますけども、先ほど申し上げました今後の検討項目の⑤ですね、事業者からいろんな話を聞く。その中に、求められる機能、

体育館については農トレの現状を踏まえればやっぱり体育館の建て替えというのは必要なんだという方針でスポーツ推進計画基本構想ができております。

その体育館を中心としながらほかにもどういう機能が求められるのか。ウォーキングコースも併設する、あるいは筋トレであり、ダンススタジオができるような、そのような機能をどういう機能をどこまで入れるのかというのは、この⑤の求められる機能の中で整理ができていけるんじゃないかなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（横尾秋洋君） もともとその特別委員会は総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会だから、先ほど宗貞部長のほうからあったように、面積によっていろんな機能が付加される。だからどのくらいの面積が確保できるかがポイントですよという説明があったので。それはどこだったかな。ちょっとそれを送ってくれないかな。こういう総合スポーツ施設の整備に関するというところで皆さん今言われたような形が入ってくるのではないかなと思います。

高原委員。

○委員（高原良視君） 委員長が言われた面積の資料が送ってきましたけど、逆にこの特別委員会ってスポーツ施設全体的なものを捉えた分の特別委員会ですよ。体育館だけの特別委員会じゃないですよ。だから、じゃあこの特別委員会の中でスポーツ施設の全体的なものとして面積もどのくらい要るとかいなという話がここの委員会の中でやっぱり議論されていく。執行部から1万5,000平米とか3万平米とか、そういう提案を受けてするんじゃないくて、我々特別委員会がその面積とかそういうものも併せて考えていかないかん。いろんなスポーツ施設が要るという要望を含めて。逆に執行部から1万5,000平米ですよ、3万平米ですよとか言われてきた分を議論する場所じゃないんじゃないですか。

○委員長（横尾秋洋君） だから今日の段階はスポーツ推進計画とか文教福祉でずっと協議していたところを一回共通認識を持ちましょうという形で一から説明をしてもらっているということで、高原委員とか皆さん方は文教福祉である程度やってきているからそういう言い方になってくるのかもしれないけど、もともと私が前から言っているのは総合スポーツ施設の整備に関するという形だから、その中に体育館も入っていれば、辻本委員たちが言われた遊歩道とかいろんな形があればなってくるので、そういう形の前提の協議をしたいなと思っています。

○委員（春口あかね君） スポーツ全体の。

○委員長（横尾秋洋君） 全体。ただし今までこういう整備計画が出てきてるし、そういう形をずっと文教福祉でしてきているし、議会としても第7次総合計画に関する提言をする中にこの問題も提言されていますので、いろいろ含まれたところで協議をしていくのが前提だなというふうに捉えています。

前田委員。

○委員（前田倫宏君） 資料2のページの質疑もしていいようなので、させていただきますと……

○委員長（横尾秋洋君） ちょっと先に戻しましょうか、そしたら。

○委員（前田倫宏君） 資料2ですね。検討の趣旨・目的・経緯についてであります。

○委員長（横尾秋洋君） 送ってくれますか。

○委員（前田倫宏君） はい。2ページ、3ページなんですけれども。屋内プール施設についてであります。さきの3月の予算委員会でも指摘をさせていただいておりますけれども、小学校の民間プールの授業が今年度から始められるということでありまして、また、このアンケート調査でも屋内プール施設というものが2番目に位置づけられております。先日、課長の答弁だったと思いますけれども、その際は民間を生かしつつというか、誘致も含めてということであります。

そうした中で資料3ページ、このスポーツ施設の規模感でありますけど屋内プールというものがないんですよね。なので、この1年間で大きく私は状況も変わっているかと思うんですけれども、その点についてはプールの位置づけというものは今どう捉えられているのか。

また、事業費につきましても、小郡市では総合体育館が検討されてありましたけど、物価高で金額が合わないというような状況があったというふうに聞いております。そうした中でこの資料での建設費はこの財源で賄えるのか。

その2点をちょっとお伺いしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 安楽課長。

○文化・スポーツ振興課長（安楽鉄平君） プールの件について回答させていただきたいと思います。

こちらが筑紫野市スポーツ施設整備基本構想の中で述べておりますので、そのページを今から飛ばしたいと思います。

13ページになります。この市民アンケート等で要望が高い施設の検討という中で屋内

プールというところで表記をさせていただいております。

読み上げさせていただきます。屋内プールは年間を通じて利用者が見込める体育館等と比べ繁忙期と閑散期では利用者に大きな差異があり、年間を通しての有効活用や、月々のランニングコストが高額であるなど課題が大きいことから、公費を投じるには慎重であることが必要です。また、全国的な学校のプール授業の傾向として効率的な運営や高度な専門知識を活用した民間委託への流れがある中、本市においてもその動向を踏まえ民間資金の活用など総合的に検討する必要がありますということにしています。

現在、市民プールというのが企業を誘致できないかというところで現在それを探っているという状況になっているところでございますので、この体育館とは別に今考えているというところで認識していただけたらと思っております。

以上になります。

○委員長（横尾秋洋君） 前田委員。

○委員（前田倫宏君） 繁忙期と閑散期の話をされました。小学校の民間委託はそういった季節に応じて屋内なのでそういったところも賄えるのかなと一つ思っています。

そうした中で先ほど示したスポーツ施設の中には体育館が優先順位高くあって、その他グラウンドがございますよね。その中でプール施設も入ることがあり得るのか。それはそれで今の構想とは別でプール施設を民間誘致するのか、その線引きというか、考え方をもう少し教えてください。

○委員長（横尾秋洋君） 安楽課長。

○文化・スポーツ振興課長（安楽鉄平君） 現時点ではこちらに書いてますけども本構想、スポーツ施設整備基本構想の中では対象外として別途検討することとしていますので、この体育館とは別の場所でできないかという可能性を現在探っているという状況であります。

○委員長（横尾秋洋君） 前田委員。

○委員（前田倫宏君） スポーツ施設が点在化するというような、今、答弁の中でありましたけど、総合スポーツという部分の位置づけであれば面積に応じてだとは思いますが、プールを今後考えられているのであれば、やっぱり太宰府市のように近隣にあるほうが市民としても利便性が高くなるのかなと。例えば施設が別であるとかになるとバスの停留所が増えていたり、そういう視点もある中で、やっぱり施設を一つの拠点という考えはないんですかね。そういったものも踏まえて。

○委員長（横尾秋洋君） 課長。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） 現時点ではそういった考えではなく別にいうところで現在検討を進めているというところでございます。

以上でございます。

○委員長（横尾秋洋君） 段下委員。

○委員（段下季一郎君） 同じくプールについてなんですけど、結構筑紫野市でプールがあったというのは大分昔の話と聞いて、その後いつのタイミングかで太宰府市民プールができてということだと思うんですけど、これって結局太宰府市民プールに通っている筑紫野の方って結構多いので、一部事務組合なんかにして共同で運営するという構想って今まで過去そういう議論って行われたりしたことってあったんでしょうか。

○委員長（横尾秋洋君） 安樂課長。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） そういった議論はしていないというところがございます。こちら一般質問のほうでも回答させていただいたんですけども、やはり太宰府市民プールに筑紫野市の方が行くというところで、一般質問で補助ができないかというところが1回あったんですけども、そういったことになるとやっぱり太宰府市の方の市民感情からするとなかなか難しいというところがありますし、仮にじゃあそこを共同して運営してくという話になってくるとやはり大きな費用負担が発生するということがありますので、共同で運営していくというところは現在考えを持っていないというところがありますし、今考えていますのができるだけ公費を使わずにプールができないかという検討をしてますので、できればそういった形で今後うまくいけば公費をあまり使わずにできるのではないかというところの可能性を今探っているというところでございます。

○委員長（横尾秋洋君） じゃあ、先ほどにまた戻りましょうか。検討課題のちょっと最初のあれに戻してくれませんか。計画の概要まで行ったのかな。1ページだね。2ページに対する質疑はありませんか。今後どの公共スポーツ施設を新たに整備することが必要だと思いますかというアンケート結果、団体へのヒアリング、それから総合体育館に係る計画の概要、ここまでを。総合体育館の形に限定していきますけど、この2ページに対する先ほどの質問に重複するかもしれませんけど、この2ページに関して質問はありませんか。

○委員（辻本美恵子君） 今の質問というよりも、横尾委員長も言われたけれども、総合的なスポーツ施設の整備に関する特別委員会なんだとさっきおっしゃったので、それであればこれまで執行部がつくられた推進計画あるいは基本構想みたいなところではなくて、議会が市民の声を受けてこういうふうなものを考えていくということがありなのかなと思っ

ていたんですね。というのは、この市民アンケートの結果を見ても全ての人が、全ての市民が、多くの市民が立派な体育館を望んでいるというふうには全然読めないんですね。

まずはどういったことをやってみたいか。例えばアンケート調査の20ページのところなんか、現在、スポーツや運動をしているかという質問は実はNというのは回答数で627、もともと3,000人のアンケートの中の34.8%の人、1,046人しか答えてないわけです。34.8%といたら、ざっと言えば3分の1ぐらいの人の答えの中からこういうふうにだんだんつくられていってる。

運動しているのかというと627人、今ここで言われた週3日以上と週1、2日の人が61.1%もあるんですけども、この母数、Nは627人なんですよね。だんだん小さい中での話になっていって、じゃあ一番大事なこれから市が準備しないといけないのはこれまで運動する機会がなかったとか、運動しようと思っても身近になかった人のためにどういったものが必要なのかというスポーツや運動を行う目的というもので、1年間にスポーツをしなかった人の回答が大事なところがあるんです。健康づくりのためとか、運動不足を感じるため、体力増強とか筋力アップのためというのが上から四つあるんです。こういうことが今の市民が望んでいること。身近にあれば運動してみたい、健康のためにしてみたい、こういうことを大事にしながら推進計画というか、実施のどういった設備が必要なのかというところに持っていけないんじゃないかな。いきなり立派な体育館、私も子供のときからずっとスポーツしてきたので体育館の重要性は分かっているし、立派な体育館、みんな欲しいと言えば欲しいと言いますよ。

特にスポーツや運動するための条件でその次の21ページ、これはNが1,846になってるから複数回答を求めているわけですよ。その中でも「身近にスポーツ施設や運動できる場所がある」「施設に駐車場が完備されている」、その下二つ、「一緒にスポーツや運動をする仲間がいる」「余暇の時間が増える」こういうところがあるんですけど、これも複数回答で、Nが1,846ということは1,846全部が答えたとしても1人で2つ、あるいは3つ答えている人がいるかも分からない。選択肢として。

問題なのは6、公共スポーツ施設に望むことというところはNが2,079になっているんです。ということは複数回答で求めていると見たほうがいいわけで、「誰もが気軽にスポーツができる広場をつくってほしい」「手軽に利用できる施設を造ってほしい」「高齢者、障害者、子どもが使いやすい施設を造ってほしい」「災害時の防災拠点にもなる施設を造ってほしい」。こういうところが4番目の災害時の大きな体育館ということをイメージされているん

だと思っけれども、身近にというのが一番大きな市民のニーズなんじゃないかなと思っんですよ。だから今から議会で考えるんであれば執行部がつくった基本計画にプラスして市民のニーズをいかに盛り込んだようなものをこれから特別委員会の中で考えていけるかなというふうにできないのかなと思っっているんですよ。

○委員長（横尾秋洋君）　ちょっと春口委員の発言で休憩に入りましょ。

○委員（春口あかね君）　辻本委員がおっしゃったように、これまでの構想の中で総合スポーツの観点がなく、これまで体育館を利用したことがない人のほうが多いけれども、町全体で考えていくとこれからスポーツとか健康づくりをしていかないと医療費も上がってくるという問題も出てくる中で、やっぱり競技というよりは全員が使えるような施設を身近に造っていくことが重要かなと思っっているのと、そもそも仕事が終わってからスポーツをする時間がない人のほうが多い中で、どんなふうに日常生活にスポーツができる環境を落とし込んでいくかというのが本当に重要だと思っるので、となると私は議会で検討しているこども館とか、大人と一緒に子供と遊べるような場所というのを増やしていったほうが子供の施設みたいな感じにはなるかもしれないけどスポーツという観点も含めてよいのかなというふうに思っっています。

○委員長（横尾秋洋君）　宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君）　ちょっと私たちの立場といいますか、私たちの考えとしてはスポーツ推進計画をつくって、このスポーツ推進計画の中には基本理念あるいは施策体系の中に例えば生涯スポーツの推進であるとか、子供のスポーツの充実であるとか、スポーツによる地域活性化であるとか、このような施策も当然ながらうたっております。ただその中でそれにしてもやっぱり体育館が必要だよと、この施策は進めつつ体育館が必要だよということとスポーツ施設の整備基本構想ですね。体育館じゃあどんなものが要るのかという次の段階に進んでいる。

確かに言われることは大事なことから、それはスポーツ推進計画の中でこれを推進する中でやっていくところが意見として多く出てきているのかなというふうに思っっています。今回、私たちはやっぱりスポーツ推進計画の中でもありますようにまずは体育館を検討しましょと、ソフト面も含めて進めるけども体育館を検討しましょということで今回体育館を検討することになった経緯あたりを説明させていただきながら、じゃあ場所はどうなのか、場所が決まればその面積に応じてどういうふうなものが一緒にできるのか、そういうものを検討していけたらなという提案をしておりますので、御理解いただければなとい

うふうに思います。

○委員長（横尾秋洋君）　じゃあ10分間休憩します。

○委員（辻本美恵子君）　今の部長の言葉に対して。

○委員長（横尾秋洋君）　辻本委員。

○委員（辻本美恵子君）　体育館を進められるのではなくて、基本計画の中に入れているのであれば、やっぱり並行して進めるべきではないかなと思うんです。

というのは、立派な体育館造って、それが稼働率の悪い建物になるよりは、スポーツをする人の人口を、まず裾野をいっぱい広げて、今、公民館で卓球している人も、上手になればやっぱり体育館の中で開かれる市民卓球大会みたいなのに出たりしたいと思っていくようになるように、運動する人をどんどん増やしていくようなことをまずやって、それにあわせて、将来的にはこういうものが必要になるから併せて計画しましょうっていう二本立てでやっていくべきではないかなと思います。

でないと、建てて空っぽの大きな体育館があるよりも、みんなが使えるもの、みんながイメージできるもの。今、地域で練習してるものが将来的にあの体育館でみんなと一緒に大きなスポーツ大会ができるようになるんだとイメージできれば、さらに運動する方向に向くと思うんですよね。

○委員長（横尾秋洋君）　宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君）　その点については言われるとおりだと思います。当然、箱物をつくって終わりじゃなくて、それをいかに利用していくかというのがさらに重要になってくると思います。

ですので、さっき言いました例えば生涯スポーツの推進のための体育館、子どものスポーツ、あるいはスポーツによる地域の活性化、あるいは指導者、ボランティアの育成、これも含めて体育館の中で一緒に総合的に筑紫野市のスポーツを盛り上げていくというところは全くぶれるところではありません。

当然ながらじゃあどうやって活用するのか、そこの体育館にどういう機能を持たせるのか、そこについては先ほど申し上げましたけど民間のサウンディング調査を踏まえて、どういう機能を持たせるのかというのを含めて検討していきたいというふうに思っています。

○委員（高原良視君）　宗貞部長が今言われている分について、先ほどから言っているように、ここの特別委員会はスポーツ施設の整備に関する特別委員会。あなたが今言っている、宗貞部長が言っているのはこの特別委員会がいろんなスポーツ施設の整備の中で、特別委

員会がじゃあ体育館を造っていこうという結論に達して、こういう体育館にしようというときは、この特別委員会がまた次の体育館の整備に対する特別委員会という形に移動した分の中の発言になるわけよ。あなたが言うように、私はここで全体的な議論をしよう、スポーツに対するものの筑紫野市のスポーツに対する施設やら、そういう議論をする特別委員会ということで設置したならば、用地の選定までを私がしますからと言って一番初めにざーっと言うものでは、ちょっと我々の議会と執行部の考え方の分に差があるんじゃないですかね。

そこを委員長がどういうふうな形で調整されているのか、私もよく分かりませんけど。

○委員長（横尾秋洋君） 宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） すいません、ちょっとそごがあったならおわび申し上げたいと思いますけど、あくまで私たちとしてはスポーツ推進計画というのができて、そしてスポーツ施設の整備基本構想ができて、その中でやっぱり体育館を最初にメイン的にやっぱり体育館というのは必要だよなということで検討するというような市としての計画がここにあるわけでございまして、それに基づいて、私たちはこういうふうな考え方を持っていますというのはお示ししながら協議をさせていただければなというふうに思っています。

○委員長（横尾秋洋君） ちょっと議論が並行していますが、45分まで休憩します。

休憩 午後 2 時35分

再開 午後 2 時45分

○委員長（横尾秋洋君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

今、宗貞部長のほうから 2 ページの総合体育館に係る計画の概要というところまでいって、これに対するいろいろと今、物議を醸してきています。これはこれでちょっと横に置いておいて、次の筑紫野市のスポーツ施設基本構想の概略を説明していただいましょうか。そこでまたいろんな意見があろうかと思いますので、取りあえず、今、検討の趣旨・目的・経緯というところまで今日は聞いて、それも十分納得とかされないとは思っていますので、それはそれで課題として残していったって再度検討していきたいなと思っています。

取りあえず今日出されたレジュメの検討の趣旨・目的・経緯についてもう一度ちょっともし自分の意見ということではなくてこれに対して疑問があるということであればこっちを

先にやっていきたいと思います。そうしないと無制限な時間になってくると思いますので。大体あと30分程度で終わりたいなと思いますが。これは何が今流れてきたのかな。今言ったことに対する、私らに対する質疑ですか。

田中委員。

○委員(田中 允君) だからこのスポーツ推進計画をどのように捉えるかと、我々として。そのポジションが分からんと、あっちいったりこっち行ったりしてるような気がしてね。

○委員長(横尾秋洋君) これはさっき宗貞部長が言ったように、スポーツ推進計画というのが立てられてますけど、そこまでまだ不明がありますか。

春口委員。

○委員(春口あかね君) 我々議員がこの委員会を立ち上げた目的というのをもう一度説明していただいてもいいですか、委員長。

○委員長(横尾秋洋君) ここは、次第に書いてる総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会。総合的なスポーツ施設。その中に体育館も含まれているし、グラウンドも含まれているし、いろんな水泳プールなんかも総合的に入っている。ただし、今のところ、具体的にいろんな経緯を聞いて文教福祉あたりで進んできたのは体育館についてが大きなメインになってきてるので、それはそれとして、総合スポーツの全般的なことを今日の段階は進めていきたいなと。そして総合体育館というのはここにありますよということをちょっとそれは横に置いておいて、スポーツ全般について説明をしてほしいなと思います。

だからスポーツ推進計画、それはそれでいいですよ。その中に全て網羅されていると思いますから。

ちょっと感想だけど、あまりにも総合スポーツということで文教福祉にあまり重たい課題を与え過ぎておったのかなと。最初からスポーツ推進計画とかスポーツに関する特別委員会を最初からつくっておけば、こういう形にならなかったのかなと思って。逆に文教福祉委員の皆さん方にはちょっと重たいもの、公共交通をある委員会に任せるというのと一緒に形で、産廃問題でもそうですけど、大きな課題がある中でやってきたということがありますので。だから執行部としては……

○委員(高原良視君) 言ってましたよ、重過ぎるって、委員会では。

○委員長(横尾秋洋君) 安楽課長のほうからずっとスポーツ推進計画の説明があっってきましたけど、赤司委員も何か手を挙げてるから。祥一君、何か言いたいことありますか。休憩中じゃないですから。

○委員（赤司祥一君） 今、ごめんなさい、資料2の3ページ、4ページの説明をというふうに委員長がおっしゃったと思うんですけど、安楽課長から今送っていただいたのは構想のやつですかね。どちらに向かうのかなと。資料2の3と4はさっき1回説明をいただいたので。

○委員長（横尾秋洋君） 3と4の最初のほうのレジメを出してください。

○委員（赤司祥一君） 3、4ページですね。今ちょっと送ります。委員長がおっしゃったのがどれのことか……

○委員長（横尾秋洋君） だから3ページと4ページは1回説明全部受けたんですよ。それに対して1ページ、2ページ質疑ありませんかという形になって、いろんな意見が出てくるものだから今いろいろ行き詰っているところでもありますので、取りあえず内容を皆さんで協議したいと思います。3ページ、4ページに対する質疑があれば進めていきたいなと思います。

赤司委員。

○委員（赤司祥一君） 先ほど高原委員がおっしゃったように2ステップあるかなと思ってまして。

委員長もさっきおっしゃったように、まず体育館ありきではなくて、体育館も含めて総合スポーツ全体をどうしていくかという話。その後に協議した上で体育館を造ろうとなったから次に体育館を具体的にどうしていくかという話で2ステップだと思うんですけど、3ページ、4ページは具体的な体育館の内容で、しかも4ページは、どの案でも体育館を造るという前提になっちゃっているんで、1ページ、2ページのさっきの話をもうちょっと詰めていって、そもそも体育館でいいのかどうかという前提を我々議員全員でもうちょっと煮詰めるべきなんじゃないかなというのをちょっとと思いますが、いかがでしょう。

○委員長（横尾秋洋君） だから体育館でいったときに3ページかな、上に出てきてる総合体育館の項目があって、1万1,000平米とかいう形があって、その下に駐車場、多目的グラウンドとか様々挙がってきてるから、一応こういうところまで概要をちょっと質疑して、次の4ページの分は総合体育館、これもそうだけどスポーツ全般に対する質疑が入ってきてるのでこの辺までちょっと今日進めていきたいなと思ってます。

だから3ページあたりでちょっと基本的に質問があればこの辺で質疑をやってきたいなと思います。だから今、総合体育館だけが非常に注目されてましたけど、次の多目的グラウンドとか多目的グラウンド小とか、こういうところでこういう考え方もちょっと説明し

ていただければなと思っています。

執行部のほうから多目的グラウンド、サッカー、ラグビー、ソフトボール、グラウンドゴルフ等、これで1万2,300平米とか、こういう形で具体的な面積まで出てきているので、どういうことを考えてこういう数字が出てきているのか。

だからさっきから言うようにレクリエーションとかウォーキングとかランニングコースとかいう形まで出てきてるから。これは濱崎部長のほうの管轄かね、ここは。

○教育部長（濱崎博文君） 今、宗貞部長のほうで説明をいたしました3ページをもう一度説明をさせていただくということでよろしいですか。

○委員長（横尾秋洋君） しかし、この中にもヨガとかダンススタジオとかニュースポーツ、こういうやつが入ってきて、これは体育館の中に。しかしヨガとかは、屋上でしろとか、グラウンドでしろと言われてもできないもんね。

さっき、卓球場あたりでも原田公民館で卓球している人とか、農トレでしている人、市の体育会とかすれば総合体育館の中でという感じになってくると思うから。だから安楽課長の中でこの多目的グラウンドとかウォーキングコースってどういう協議をしていったのか、ちょっとその辺を説明してもらえますか。

安楽課長。

○文化・スポーツ振興課長（安楽鉄平君） まず、こちらの3ページに施設がありますというところで、スポーツ施設整備基本構想をお送りします。

届いているでしょうか。市民アンケート等で要望が高い施設の検討というところですね。というところでスポーツ推進計画の中で要望が高かったものに関して検討を行っているというところになります。

まず体育館の整備についてはアリーナや武道場、トレーニング室などの施設を備えた総合体育館を優先的に検討することとしているというところ。その他の付帯スポーツ施設としまして要望が高かったウォーキング・ランニングコースですね。こちらが総合体育館やスポーツ施設全体を周回するコースの設置などで検討します。

またグラウンド、様々なスポーツが実施できるよう、多目的グラウンドの整備を検討しますというところがありまして、スポーツ推進計画の中で要望が高かった施設を主に参考に行っているというところがあります。

それから、その前のページになります。送ります。市民が今後してみたいスポーツや運動等のほうで体育施設系のスポーツというのが様々あります。そのほか専用施設系のスポー

ツ施設であったり、屋外小スポーツ系スポーツ、こちらのほうを参考にいたしまして、今送りましたこちらの表に基づいて総合体育館と付帯スポーツ施設の規模と用地面積を案として挙げているというところになります。

以上になります。

○委員長（横尾秋洋君） 春口委員。

○委員（春口あかね君） 送っていただいた分は複数回答ですか。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） そうです。複数回答です。

○委員長（横尾秋洋君） 前田委員。

○委員（前田倫宏君） 附帯設備というところで体育館抜きにしても、ここの構想の中でも屋内プールに関してはうたわれてますよね。アンケート調査で高いということで。基本構想の中に、やっぱり答弁でも前向きに民間を誘致していきなり、恐らく項目変わってくると私は思っているんですけど、スポーツ施設の位置づけとして私は構想にやっぱり入れ込むべきじゃないかなと思うんですけど、今後、整備を進めていく上で整合が取れるようにですね。その辺をどのようにお考えですか。

○委員長（横尾秋洋君） 安樂課長。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） その件に関しては同じ答弁になりますけども、あくまでこの整備基本構想をつくった中で屋内プールに関しましては別途検討することとしておりますので、この構想とは別に検討させていただきたいと考えています。

以上です。

○委員長（横尾秋洋君） ちょっと私からだけど、多目的グラウンドのサッカー、ラグビー、ソフトボール、グラウンドゴルフ、これで1万3,000平米って、これを共有していくのか、サッカー場はサッカー場、ラグビーはラグビー、ソフトボールはソフトボール場と、こういう形で置いて1万2,300平米という形なのか、共用で使っていくのか。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） 今送らせていただきました。スポーツ施設の配置例というところを御覧いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

19ページ、この図が案として挙げているものとなりますので、先ほどの多目的グラウンドというところになりますと、サッカーであったり、ラグビーとか、そこら辺に関しては共有というところで考えております。

○委員長（横尾秋洋君） 共用やな。

濱崎部長。

○教育部長（濱崎博文君） まだどのようなを整備するというふうに決まったわけではございませんので、皆様方からの意見とかも頂戴しながらですから、共有であるとか、専有であるとか、専用であるとかいうのまでは決定したわけではございません。あくまで平置きで並べると多目的グラウンドはこういうイメージでサッカーなんですよ、大きいのはと。小さいのはこんなイメージですよと。そういうイメージとして捉えていただければと思います。

以上でございます。

○委員長（横尾秋洋君） 段下委員。

○委員（段下季一郎君） ちなみに、今の農トレとその横の分も含めて、用地とか駐車場も含めたあそこの用地は全体で何平米ぐらいあるんですかね。あそこで建て替えするとしたら。

○委員長（横尾秋洋君） 安樂課長。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） 農業者トレーニングセンターが今の敷地でいきますと2.8ヘクタールあります。そのうち市有地、市が持っている土地が2.2ヘクタールです。

以上です。

○委員長（横尾秋洋君） 春口委員。

○委員（春口あかね君） スポーツ推進計画のアンケート回答者の属性って分かりますか。

○委員長（横尾秋洋君） 安樂課長。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） 市民・学生アンケート調査をちょっと送らせていただいております。こちらの回答者の属性に関しましては、市内在住の18歳以上の方ということになっております。

以上になります。

○委員（春口あかね君） アンケートは、取っていないということですね、データで年齢とかを取っていないという。

○委員長（横尾秋洋君） 課長。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） そのとおりでございます。

○委員長（横尾秋洋君） またさっきのあれに戻して。4ページの分に。

ということは、今3ページに出てきている駐車場から多目的グラウンドの中の面積は一応の目安ということであって、これで確定しているものではない。しかしこれを全部網羅すると5万2,900平米ですから何ヘクタールになるかな。5.3ヘクタールということは、さっきの農トレの面積が2.8ヘクタールということからすると半分ぐらいしかないということ。と

いうことは全部を網羅すれば今の農トレの敷地面積の倍は必要ですよということなんですね。間違いないですか。

安樂課長。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） はい。

○委員長（横尾秋洋君） ちょっと今日のところの執行部からの説明は以上で受けて、あとちょっと議員間協議をやりたいなと思いますので。

前田委員。

○委員（前田倫宏君） ちょっと先の質疑であれだったんですけど、施設の整備費の答弁いただいてなかったんじゃないかなと思ったので。要は、物価高の影響でこの数字が変わらないかということを含めて、答弁いただきたいと思います。

宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 私のほうから。資料の４ページに施設の整備費73億円等々書いておりますけども、これについてはあくまでも近隣市の状況でこのぐらいじゃないかと想定したものでございます。

最初のサウンディング調査のときにも話しましたが、金額が幾らぐらいかかりますかという、あなたが提案した施設を造るとすれば幾らぐらいかかりますかという提案をいただこうと思っておりますので、その中で大体の事業費というのは分かるのではないかなと。今後それプラスアルファどれぐらいを見ておけばいいのか、物価高がどのぐらい影響するのかということも含めて民間からの聞き取りの調査を行っていきたいというふうに考えております。

○委員長（横尾秋洋君） じゃあ今日の検討……。

赤司委員。

○委員（赤司祥一君） ちょっと議論していく上で聞いておきたいことがありまして、すいません、ちょっとまた飛ばさせていただいた参考資料１の推進計画のアンケートなんですけど、アンケートからなかなか読み取るのは難しいかなと思っているんですけど、僕は体育館を造ったほうがいいという結果になるんじゃないかなと個人的には思っていて。例えば22ページの一番回答数が多い「誰もが気軽にスポーツができる広場を造ってほしい」とあると思うんですけど、ほかの項目を見ても、誰もが気軽にスポーツができる施設とか体育館を造ってほしいという項目はないんですよ。ということは、一番多かったこの回答って、体育館も含んでる回答として多分回答者は言っているんじゃないかなと。

あと、次のページをめくっていただいて、先ほど辻本委員、春口委員とかからも話があった右下の問い12、24ページの右下、これちょっと見にくいなと思ったんですけど、右上にウォーキング・ランニングとかあるのでこれが一番回答が多いのかなと思いきや、実は右下の体操、筋トレ、ダンスというのが28.2%で一番多くて、その左下の卓球、バドミントンという体育施設系スポーツを含めると総合体育館というカテゴリーでいうと半分ぐらい網羅できることだったり。

あと、右上のウォーキング・ランニング、「市民が1年間に行ったスポーツや運動等」では50%以上いるんだけど、「してみたいスポーツ」になるとウォーキング・ランニングが22.9%になっていてとか、ちょっと読み取れないことが結構多過ぎるなと思ってます。

ただこういったところと、あとはやっぱりどこまでいっても農トレをあと10年とかで大きく改修しないとイケない。文化会館と同じ議論になると思うんですけど、結局改修に10億円、20億円仮にかかるのであれば、それは建て替えたほうがいいんじゃないかという議論も議員からも出てくると思いますし、じゃあもうなくそうということで、総合体育館も造らず、農トレもなくなるなんていうことはまずあり得ないと思うんですよね。スポーツができる施設が。となるとやっぱり総合体育館みたいなものが必要になってくるのかなみたいなところになると思うんですけど、ごめんなさい、2点質問です。

一つがそういう検討の中に他市のスポーツ施設とかと連携みたいなのって考えられたのか。先ほど前田委員からもありましたけど、例えば小郡運動場はこっちを使って、向こうが造れないから総合体育館を造って小郡の方にも使ってもらうとか。あとは、太宰府のとびうめアリーナって結構惜しい部分がいっぱいあったりして、ハンドボールとかフットサルとか体操とか、大会レベルになるとできない競技が実は多い。そういうところをこっちで補うようにして、先ほど春口委員がおっしゃったような稼働率が低い施設にならないように、例えば他市にも使ってもらうことまで検討しているのかどうかとか。そういう他市との連携を考えているかどうかというのをまず一つ聞きたい。

二つ目はちょっとまだ出てきてないんですけど、やっぱり40年たったから建て替えるということは次またここから造ろうとした場合、40年使うと考えると2060年を超えて日本の人口も8,000万人台まで落ち込む。そのときにも活用され続ける施設というようなときに今シティブランディングの構想を進めているので、シティブランディングとの兼ね合いというのも非常に重要になってくると思うんですね。これから筑紫野市をどうしていくのかという。そこはまだ出てきていないとは思いますが、私もちょっと観光協会として参加さ

せていただいている中でそこをなんかもうすぐ出てきたときに一緒に一体的に考えていくのか。

この2点だけ伺っておきたいです。

○委員長（横尾秋洋君） 安樂課長。

○文化・スポーツ振興課長（安樂鉄平君） 他市町村の連携といたしますか、役割分担に関しては、今後体育館を検討していく中でそこら辺は整理していきたい、と考えています。

以上になります。

○委員長（横尾秋洋君） 宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） シティブランディングとの連携につきましては、先ほど申し上げましたけども、求められる機能、ここにどういう機能を持たせるかというところで併せて検討できる部分については検討いたしたいと思います。

それとちょっと補足で、文化会館の議論と一緒にないかという話がありましたけど、どうしても今、農トレが建て替えを前提に、建て替える必要があるというのが、例えば、今、御存じのとおり、計画のほうにも書いておりましたけれどもバスケットコートが2面ありますけど、バスケットコート2面を正式に使おうとすると選手のいる場所がないんですよ。バレーボールもそうで、バレーボールをしようとしてもバスケットのゴールが邪魔になって正式な大会とかが開けない。じゃあどうすればいいかというと、体育館自体を広げないといけない。だからとても改修だけではどうしてもやっぱりできない。だから建て替える方向しか農トレ自体はないんだろうというふうに考えています。

そういう意味ではちょっと、文化会館は中で何かできることがあるなら中で、でも農トレはそういうことにはならないというのはちょっと一つ御理解いただければなど。

それと、先ほどから全体的なスポーツの在り方、スポーツの推進の仕方についてという話が出ておりますのでちょっと補足して説明させていただきたいと思います。

スポーツ推進計画の目次を見ていただきたいんですけども、ちょっと全体像をつかむために。まず1章、スポーツ推進計画の概要、そして2章で現状と課題、この現状と課題の中でスポーツ施設の現状であるとか、あるいはアンケートを取ったり、ヒアリングをしたりというところをしている。それに基づいて基本理念をつくっている。

第4章の具体的な施策の展開で全部で6あります。1番にスポーツ施設の充実・環境の整備、このスポーツ施設の充実・環境の整備の中にはスポーツ施設の計画的な整備が一つあって、もう一つは既存施設・設備の改修があって、三つ目には利便性の向上というのがここの

ところに書いてあるんですね。その中のスポーツ施設の基本的な整備には例えば天拝山とか宝満山の地域資源を生かした取組についても検討しますとかいろいろ書いて、その中でもまずは体育館を検討しましょうという計画になっているというところ。それから2番目に指導者・ボランティアの育成では指導者の発掘であるとか、指導者研修の充実であるとかという話をしている。3番の生涯スポーツの推進の中にはスポーツ大会の開催であるとかイベントの開催であるとか、ニュースポーツの普及であるとか、気軽に参加できるイベント教室の充実であるとか、そういうふうな施策展開をうたっている、などなど、市としての総合的なスポーツの考え方、どうやってスポーツを推進していくのかというところはこのスポーツ推進計画の中に市としての考え方は入れさせていただいている。総合的にどうしていくのかというところはですね。

その中で、1番のスポーツ施設の充実、いろいろあるけれども、まずは体育館を検討しようというところで私たちは提案を差し上げているというところで御理解をいただけたらなというふうに思います。

以上です。

○委員長（横尾秋洋君） どうですかね。一応執行部からこういう説明を受けたというところで、あとは少し残ってもらって議員間討議でやっていきたいなと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（横尾秋洋君） じゃあ、どうも執行部の皆さんお疲れさまでした。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） ありがとうございます。

閉会 午後3時20分